投票紙を配って
陸軍職工大會合
東西呼應して起つた
砲兵工廠の意氣込み

東西相呼應して起つとに決定した砲兵工廠職工大會は明廿七日から火蓋を切るとになつた、東京の小石川勞働會安達理事は之が爲に大阪側と

協議 をする爲め廿六日朝八時當地出發大阪側の八木信一[illegible]と名古屋[illegible]

大會の標語は時間短縮と[illegible]與共濟會改造の三箇條で一般勞働者の意志の尊重の意味から[illegible]の意見は全く白紙とし、先づ勞働者の聲を聽くため投票によるべく廿七日は王子、板橋、十條に、廿八日は小石川に[illegible]

出張 して職工が入場前に投票紙を配り退出に際して大會續行の賛否を得て同時に大會へ臨むとになつたので大會の會場は二十七日王子銃砲所東門の十條澤尻八ン店裏手、板三五原等の空地に二十八日は小石川[illegible]と定め二十九日は未定である、此大會に千住製絨其他砲兵關係の各場を網羅したのは[illegible]

躍走 を兼ね[illegible]工全部を網羅[illegible]の目的である、更に日本勞働總同盟及び安達勞働本部も此運動を援助するようになつたと

工廠の職工連
千五百名の表決
賃金と賞與の復舊に
代表決議權を確定す
混亂した演說會場で
二名檢束さる

昨夜四時王子新道紅葉寺裏手空地で小石川勞働日本工友聯合主催の演說會が開かれたが折柄砲兵工廠の引け時であつた爲忽ち一千五百餘名の職工が押寄し工友會横山幸一開會の辭を述べ次で小石川勞働の安達副會長演壇に突つ立つて「砲兵工廠の九時間制度は時間に於ては僅に一時間の

短縮だ が賃金は一割五分乃至三割減となつた、又賞與は廢止され臨時手當の如きも正に廢されかゝつてゐる、此反對運動に就て代表者の決議權が必要となつて來たから會衆諸君の投票を請ふ」と結んで[illegible]一致の賛成により一切兩人に[illegible]る事となつて演說に入り工友の[illegible]演說中過激の言辭があつたとて

臨場の 小原警部補が注意を與へたのを「中止」と聞き誤り聽衆總立となりアハヤ大混亂に陷らん形勢となつたが事情判明して間もなく鎭靜し五時散會した、一方同夜六時から王子新道王子劇場でも改造協會主催の社會改造勞働問題演說會が開かれ山崎正助、方川[illegible]等交々登壇

演說中 八時半頃日本工[illegible]、市川兩人が[illegible]た結果[illegible]演說となり双方[illegible]を[illegible]ひ喧噪を極めた爲王子署は遂に中止を命じた上兩人を檢束したが[illegible]は途中から逃走した

八木氏等
東上

熱田兵器製造所職工長大山龜五郎氏解雇問題から勃起した名古屋熱田兩兵器支廠職工向上會員五百餘名が東西砲兵工廠向上會員と相呼應して烽火を揚げつゝあることは既報の通りであるが向上會長八木信一氏を始め實行委員である西部支部長以下六名の實行委員は二十六日夜大山職工長復職問題及び昨紙報道の決議を提げて急遽上京したが一方名古屋向上會支部では二十七日夜熱田大瑞寺に演說會を開き續いて示威運動を爲すべく目下協議中である(名古屋電話)

「なあに蚤に蚤サ」と
當局頗る樂觀
工廠大示威を眼前に控て
職工は準備成る

小石川砲兵工廠[illegible]

喰れる [illegible]

大會を 開き[illegible]

減少し 職工の收入を[illegible]

幾干で も[illegible]

工廠票決の第一日
三會場の内二つは禁止され
紅葉寺の裏に集る約一千名
松浦提理王子へ出張

既報の如く王子を中心とする東京砲兵工廠職工は小石川勞働會と日本工友會の斡旋で廿七日午後四時から要求三項を

票決 すべく銃砲製造所門前、板橋三五ケ原及王子紅葉寺裏の三ケ所で職工大會を開く事になつたが警察者では門前と三五ケ原の集會を禁止したので兩組合の幹部連は火具製造所を出て來る職工連に紅葉寺へ集まれ〳〵と斡旋の結果約千名と云ふものが集まつた王子署からは六十名ばかり警官隊から二十餘名それに憲兵隊からも

出動 して物々しく警戒してゐる裡に工友會長[illegible]が立つて宣傳ビラを讀み上げて一々說明を加へ會衆の贊同を促し次に[illegible]小石川勞働會副會長は曾て[illegible]造所に居た時分の生活狀態を說いて今日の事に及び「給料の減つて行くのは當局の不誠意から起る事である」と叫んで大いに而々を感動させる續いて渡邊工友會幹事が出て過激な言を弄して

臨場 の警部補から注意を促されたが其「注意」を「中止」と聞違へて喰つてかゝる一同さつと殺氣立つたが誤解と知れて納まり芝浦技友會の杉木なども言ふ飛び入りの演說もあり結局此處に集まつたものは一同要求三項に贊成で愈々實行委員を舉げ大阪側と合同して大運動を起す事に決議し五時半散會した

松浦提理は二十八日北白川宮殿下御見學の爲め砲兵工廠銃包部に成らせられるので二十七日午後四時分に銃包部に赴いたが其の節板橋、王子、目黑の三製造所長を集め從業員目下の運動に對する對抗策を協議した

王子劇場では別の演說

學生聯盟、日本勞働黨等の連中で組織された改造協會の勞働演說改造演說會が廿七日午後六時府下王子町王子劇場に於て開催された、小石川分働の芳川哲、日本勞働黨の片岡東治、獨立勞働黨の本田孫黨等交々起つて氣を吐き次で學生聯盟の眞鍋儀十が[illegible]脫線して政治演說を始めると係官から待ち構へて居た瀧野川工友會の連中が續次り立て中にも同會幹事の渡邊[illegible]は壇上に飛び上つて「勞働問題の演說に政治を論ずるとは不都合だ」と怒鳴り出したので場內は沸の沸くが如くになつた、夫と見て警官は矢庭に渡邊を檢束しやうとしたので工友會の市川辨次郞が之を救ひに飛出す、其間に渡邊は早くも逃げ出して市川のみが檢束され大混亂裡に散會した

砲兵工廠王子支廠職工
運動開始と決定
二十七日の大會に滿場一致
本日は本廠側の大會

東京砲兵工廠王子支廠[illegible]十七日午後四時から[illegible]

突立ち [illegible]

二割の [illegible]は「[illegible]」と述べる、[illegible]

中止を [illegible]

一任と [illegible]

警察の干渉で
直ぐ解散
昨夜王子で工廠職工大會
待遇改善を絶叫して起つ

待遇改善を絶叫して東京砲兵工廠の職工團の蹶起せるは過般所報の如くなるが愈々二十七日先づ王子方面の各廠では午後三時より日本工友會主催の職工大會を紅葉寺に又午後六時よりは小石川勞働會本部主催の職工大會を王子劇場に夫々開催して過般減らされた給料の復活賞與臨時手當の現狀維持共濟會の改善の三箇條に對し意見を纏める所あらんとして職工間の意氣正に沖天の概あり形勢頗る大險惡なりしが此らんとするや王子署に於ては紅葉寺に對しては午[illegible]に對しては午後八時頃夫々解散を命じたので力瘤を入れ過ぎた職工連は不平滿々何れも本意なげに散會した

口を封じられて
靜肅に散會
砲兵工廠分工場の
大會皮切り

既報三箇條の要求を掲げて大阪及熱田工廠と相呼應して運動を起した東京の小石川砲兵工廠千住製絨の各砲兵工廠分工場は夫れ〴〵

連絡を保ち 運動漸く熾烈ならんとしてゐるが廿七日夕四時から開かれた王子新道空地に於ける王子支廠の職工大會は口火を切る第一日であるのと、前[illegible]に狼狽せる當局が巧に懷柔の手を延ばしたため會する者は殆んど五百餘名に過ぎなかつたが聽衆は何れも眞面目に開會を待つてゐた[illegible]士は安達副會長工友會の渡邊[illegible]橫田[illegible]氏等何れも臨場の警官に

中止を命ぜ られやつと右の三箇條を滿場一致で可決しこれが實行方法は舉げて小石川勞働會日本工友會幹部に一任する事として極めて靜肅に七時過ぎ散會したが廿八日は小石川砲兵工廠構內に於いて小石川砲兵工廠の職工大會を開き更に廿九日は目黑赤羽千住支廠一所に職工大會を開いて意見を纏め實行委員を舉げて關西側に特派すると共に協力して陸軍當局に肉薄する段取である

一、九時間制度以來從來の十時間制に比して一割乃至三割の減給は不當と認む
一、年度賞與、手當を永續されたし
一、共濟會を改善し代表決議權を認められたし